

2009年5月29日

私立大学図書館協会西地区部会加盟館 各位

神戸学院大学図書館

私立大学図書館協会西地区部会 アンケート結果集計
図書購入時期集中(学部・個人研究等)への対策

標記の件につきまして、神戸学院大学図書館から、私立大学図書館協会西地区部会加盟館 259校(東海52校、京都42校、阪神68校、中国・四国43校、九州地区54校)宛てにアンケート調査を依頼いたしました。

その結果、191校(194館)からアンケート調査の回答を得ることができました。ご回答いただきました図書館等担当者の方には大変感謝申し上げます。

この度のご回答いただきました多くの貴重な資料は、今後の予算執行制度を見直す際に役立てたいと考えております。なお、アンケート調査結果につきまして、下記のとおりご報告いたします。

記

1. 図書購入の締切時期は、いつごろですか。(学部予算・個人研究図書予算)

(1) 購入申込 締切 ()月 (上・中・下)旬

月	上旬	中旬	下旬	合計(館)	備考
7	0	0	1	1(0.6%)	
8	0	0	1	1(0.6%)	
9	0	0	2	2(1.2%)	
10	0	0	5	5(2.9%)	
11	0	1	12	13(7.6%)	
12	9	5	23	37(21.6%)	
1	7	7	45	59(34.5%)	
2	10	14	14	38(22.2%)	
3	9	3	3	15(8.8%)	
合計(館)	35	30	106	171	

*無回答・・・15館

- * 上記以外に、8館から回答がありましたが、分類できず集計には入れていません。
- * 設問に関して、いろいろなご意見がありましたので、下記に記載いたします。

- ・ 全て和書は11月末、洋書は10月末としています。発注後の納入がずれこむ場合には、年度予算締切日まで対応している。
- ・ 洋書は11月、和書は12月である。
- ・ 学部は、11月頃に締切り、残りを再配分している。
- ・ 購入申込締切は現物持参時期と同時期で、個人研究予算は11月中旬で、学部予算は2月上旬である。
- ・ 購入申込締切日は特に設けず、2月末納品に間に合うようなら受け付ける。
- ・ 洋書は12月下旬、和書は1月下旬である。
- ・ 洋書は11月1日、和書は12月1日である。日時は、ここ数年変更していない。
(1日が日曜・祝日であれば翌日)
- ・ 洋書は12月中旬で、和書は1月中旬である。
- ・ 学部予算は、11月下旬で、個人研究図書予算は1月下旬である。
- ・ 購入申込は、現物持参締切日(2月末日)までに逆算して申し込むようにしている。
- ・ 学部図書予算 洋書(12月末日)、和書(1月末日)
個人研究図書予算 2月末日もしくは3月上旬まで(残高を確認しながら受け付ける)

(2) 現物持参 締切 ()月 (上・中・下)旬

月	上旬	中旬	下旬	合計(館)	備考
12	3	1	11	15(10.7%)	
1	4	4	28	36(25.7%)	
2	11	11	30	52(37.1%)	
3	19	11	7	37(26.5%)	
合計(館)	37	27	76	140	

- * 無回答・・・52館(制度として行っていない:16館)
- * 上記以外に、2館からの回答がありましたが、分類できず集計には入れていません。
- * 設問に関して、いろいろなご意見がありましたので、下記に記載いたします。

- ・ 図書館では受付していない。
- ・ 事前に購入申請のないものは認めていないので、現物持参制度はない。
- ・ 図書購入は、図書館からの発注のみのため該当はない。
- ・ 原則として現物持参はみとめていない。個人研究図書は庶務が管理する。

2. 10月末の予算執行率は、何%ぐらいですか。(小数点以下四捨五入)

回答数合計： 194館

- (1) 一般図書予算(学部) (49%)
回答あり 170館(87.6%) 回答なし 24館(12.4%)
- (2) 個人研究図書予算 (42%)
回答あり 80館(41.2%) 回答なし 114館(58.8%)

3. 購入時期が集中しないように工夫されていますか。(「はい」「いいえ」両方を回答された3館含む)

回答数合計： 198館

- (1) はい 119館(60.1%)

具体的な事例がありましたので、下記に記載いたします。

- ・全教員へ予算がなくなると購入できない旨を通知する。(早いもの順)
- ・学部長宛てに予算執行状況を年に4回連絡の上教員へ連絡する。
- ・一旦9月末に締切りを設けておく。その後、申込状況と予算を確認し、最終締切り日を設ける。
- ・毎月、執行集計表を学部事務室と図書館委員の教員に送付し、特に執行・発注の遅い学部・学科には、電話でも発注を促している。
- ・学内LANで、「図書館からのお願い」として通知している。
- ・年度末に購入が集中しないように、早い時期での予算執行を教員に対して依頼している。
- ・学生希望の専門図書を希望図書予算枠ではなく、まず各学科の学生用図書予算から執行することで、早期にリストの提出を促している。
- ・11月末までに90%執行する。残りは、年度末(2月末)までに執行する。

- (2) いいえ 68館(34.3%)

その理由について、具体的な回答がありましたので、下記に記載いたします。

- ・毎月、執行状況表を各学科の図書委員に配付しているので、残額は各学科で把握している。
- ・年度末に集中しますので、本学他学部の教員より予算締切りに合わせている。図書費のみ早するとクレームがあると思われるため。
- ・時期に関係なく教員には早く、大方の教員は締切り近くとなる。教員の意識の問題であり、現在特段の方策はない状況である。

- (3) 回答なし 11館(5.6%)

以上